

日本臨床泌尿器科医学会会報

日本臨床泌尿器科医会のURL <http://www.uro-ikai.jp>

第54号 別冊

『泌尿器科診療所におけるレセプト1件あたりの平均点数』 のアンケート調査

日本臨床泌尿器科医会オフィスウロロジー部

泌尿器科診療所のレセプト1件あたりの平均点数は、各都道府県の厚生局よりデータが開示されている。しかし、泌尿器科においては人工透析或いは在宅医療などを行っている医療機関と行っていない医療機関を分けることなく、混在した状態でレセプト1件あたりの平均点数が表示されている。その結果、各都道府県のレセプト1件あたりの平均点数は大きく異なっている(表1)。しかし、泌尿器科診療所の標榜科別のレセプト1件あたりの平均点数の実体は、未だに把握されていない。更に、泌尿器科を主たる標榜科とし人工透析を行っている医療機関が、個別指導の対象となるなど問題点も指摘されている。

今回、日本臨床泌尿器科医会(日臨泌)診療所の会員を対象として、平成30年3月の標榜科別のレセプト1件あたりの平均点数についてアンケート調査を行った。

日臨泌診療所会員768施設に対して、平成30年3月のレセプト点数のアンケート調査を行い、141施設からの回答を得た。回収率は、18.4%であった。全施設とも主たる標榜科は、泌尿器科であった。都道府県毎の回答施設数を表2に示した。日臨泌会員の多い都道府県からの回答数が多い傾向であった。標榜科別の診療所数を表3に示す。泌尿器科単科が最も多く54.6%と全体の半数以上であった。泌尿器科と内科を標榜する施設は51施設で、全体の36.2%であった。無床診療所は117施設(83%)で、有床診療所は23施設(16.3%)であった。記載の無い施設が1施設あった。有床診療所23施設のうち、人工透析を行っている施設が19施設であった。人工透析を行っている施設は141施設中38施設(27%)で、在宅医療を行っている施設が141施設中57(40.4%)施設あった(表4)。院内処方および院外処方の施設数を表5に示した。

有効回答134施設のレセプト1件あたりの平均点数は、社保2209点、国保2324点、社

保と国保を合わせた点数2286点であった(表6)。

泌尿器科単科(無床、透析なし)のレセプト1件あたりの平均点数は、社保830点、国保946点、社保と国保を合わせた点数909点であった。院外処方を行っている施設のレセプト1件あたりの平均点数は、社保814点、国保925点、社保と国保を合わせた点数890点であった。院内処方を行っている施設のレセプト1件あたりの平均点数は、社保931点、国保1070点、社保と国保を合わせた点数1028点であった(表7)。

泌尿器科以外の他科も標榜している施設のレセプト1件あたりの平均点数は、社保791点、国保907点、社保と国保を合わせた点数865点であった。院外処方を行っている施設のレセプト1件あたりの平均点数は、社保755点、国保853点、社保と国保を合わせた点数817点であった。院内処方を行っている施設のレセプト1件あたりの平均点数は、社保978点、国保1270点、社保と国保を合わせた点数1143点であった(表8)。透析を行っていない有床診療所4施設のレセプト1件あたりの平均点数は、社保936点、国保1635点、社保と国保を合わせた点数1305点であった(表8)。

在宅医療とレセプト1件あたりの平均点数との関係を表9に示した。在宅医療を行っている施設の月の平均訪問回数は11.7回、中央値は4回であった。

人工透析を行っている施設でのレセプト1件あたりの平均点数は、社保6266点、国保5843点、社保と国保を合わせた点数5976点であった。有床診療所より無床診療所の方が、レセプト1件あたりの平均点数が高い傾向が見られた(表10)。

表1 各都道府県における泌尿器科診療所のレセプト1件あたりの平均点数

北海道	2,958	神奈川県	1,295	大阪府	2,595	福岡県	2,414
青森県	2,187	新潟県	781	兵庫県	1,640	佐賀県	2,786
岩手県	2,715	山梨県	5,602	奈良県	5,160	長崎県	982
宮城県	2,797	長野県	1,651	和歌山県	1,342	熊本県	1,287
秋田県	2,147	富山県	2,257	鳥取県	797	大分県	1,632
山形県	1,146	石川県	998	島根県	934	宮崎県	3,322
福島県	2,167	岐阜県	858	岡山県	991	鹿児島県	2,635
茨城県	2,020	静岡県	3,063	広島県	1,132	沖縄県	3,341
栃木県	1,049	愛知県	1,515	山口県	1,145		
群馬県	1,444	三重県	990	香川県	1,108		
埼玉県	2,273	福井県	2,698	徳島県	807		
千葉県	1,667	滋賀県	1,359	愛媛県	978		
東京都内	1,094	京都府	2,571	高知県	1,043		

表2 都道府県別報告数

北海道	12	神奈川県	20	大阪府	10	福岡県	13
青森県	0	新潟県	0	兵庫県	8	佐賀県	1
岩手県	1	山梨県	0	奈良県	2	長崎県	1
宮城県	3	長野県	3	和歌山県	2	熊本県	2
秋田県	0	富山県	1	鳥取県	0	大分県	5
山形県	0	石川県	2	島根県	3	宮崎県	2
福島県	3	岐阜県	1	岡山県	4	鹿児島県	0
茨城県	0	静岡県	4	広島県	8	沖縄県	1
栃木県	0	愛知県	4	山口県	1	合計	141
群馬県	0	三重県	1	香川県	1	回収率	18.4%
埼玉県	4	福井県	0	徳島県	0		
千葉県	10	滋賀県	0	愛媛県	2		
東京都	5	京都府	1	高知県	0		

表3 標榜科別診療所数 (n = 141)

標榜科	診療所数 (%)
泌尿器科	77 (54.6)
泌尿器科 + 内科	37 (26.2)
泌尿器科 + 皮膚科	12 (8.5)
泌尿器科 + 内科 + 皮膚科	4 (2.8)
泌尿器科 + 内科 + 外科	4 (2.8)
泌尿器科 + 内科 + 麻酔科	2 (1.4)
泌尿器科 + 内科 + 小児科	1 (0.7)
泌尿器科 + 内科 + 婦人科	2 (1.4)
泌尿器科 + 内科 + 皮膚科 + 外科	1 (0.7)
泌尿器科 + リハビリテーション科	1 (0.7)

内科:腎臓内科、透析内科、呼吸器科、アレルギー科、漢方内科を含む

泌尿器科:性病科、小児泌尿器科を含む

記載なし:1施設

無床診療所:117施設 有床診療所:23施設 (人工透析:19施設)

内科標榜施設:51施設 (36.2%)

表4 人工透析と在宅医療

n = 141

人工透析 (+)	38 (27%)
在宅医療 (+)	57 (40.4%)
人工透析 (+) 在宅医療 (+)	11 (7.8%)
人工透析 (+) 在宅医療 (-)	27 (19.1%)
人工透析 (-) 在宅医療 (+)	46 (32.6%)
人工透析 (-) 在宅医療 (-)	51 (36.1%)
記載不十分	6 (4%)

表5 処方箋 (n = 141)

院外処方のみ	106 (75.2%)
院内処方のみ	20 (14.2%)
院内処方+院外処方	12 (8.5%)
記載なし	3 (2.1%)

表6 泌尿器科診療所のレセプト1件あたりの平均点数
n = 134

社保	2209 点
国保	2324 点
社保+国保	2286 点

表7 泌尿器科診療所のレセプト1件あたりの平均点数
泌尿器科単科、無床、透析なし n = 50

社保	830 点	院外処方 n = 44	
国保	946 点	社保	814 点
社保 + 国保	909 点	国保	925 点
		社保 + 国保	890 点
		院内処方 n = 6	
		社保	931 点
		国保	1070 点
		社保 + 国保	1028 点

表8 診療所におけるレセプト1件あたりの平均点数
- 他科標榜、透析なし、有床・無床を含む -
n = 49

社保	791 点	院外処方 n = 39	
国保	907 点	社保	755 点
社保 + 国保	865 点	国保	853 点
		社保 + 国保	817 点
		院内処方 n = 10	
		社保	978 点
		国保	1270 点
		社保 + 国保	1143 点

有床 n = 4

社保	936 点
国保	1635 点
社保 + 国保	1305 点

院内処方 2 施設、院外処方 2 施設

表9 在宅医療とレセプト1件あたりの平均点数との関係（人工透析施設を除く）

	在宅医療を行って いる施設 n = 45	在宅医療を行って いない施設 n = 54
社保	799 点	817 点
国保	1242 点	905 点
社保 + 国保	1080 点	876 点

**表10 診療所におけるレセプト1件あたりの平均点数
－人工透析－**

社保	6266 点
有床 n = 16	5806 点
無床 n = 18	6623 点
国保	5843 点
有床 n = 16	5659 点
無床 n = 18	6341 点
社保 + 国保	5976 点
有床 n = 16	5821 点
無床 n = 18	6217 点

発 行 日／平成30年9月30日

発 行／日本臨床泌尿器科医会

〒662-0832

兵庫県西宮市甲風園1丁目10-11

秋山泌尿器科内

TEL:0798-65-0854 FAX:0798-65-0863

E-mail:akiyamahinyoukika@cosmos.ocn.ne.jp

発行責任者／宮崎 良春

製 作／株式会社プランニング フォレスト

大森 啓次